

1 テーマ

複式学年別授業（算数）における効率的、効果的、協働的な学びについて（2,3年）

2 テーマ設定の理由または、課題

今年度、下阿多古小学校は、初めて複式学級が開設された。2年生（4人）、3年生（10人）計14人の大所帯である。算数科の複式学年別授業も悩みながら進めている。

2年生は4人だが能力的な差が大きく、2人が常に支援員の支援を必要とする。3年生は10人で、複式学年別授業としては集団が大きく、単元によっては、支援を必要とする子もいる。学習の型（進め方）は身に付いてきているが、確実な理解や、子供たちによる学び合いでの深め合いには、至っていない。

これまで経験してきた方法では、上手くいかないことが多いので、ICTも活用して効率的かつ、子供たちで理解を深めていくことができる授業を、今年度の研修内容として深めていきたい。

【今年度の課題】

・教室内の状況（10人の集団の声で4人の集中が妨げられる。）⇒大分慣れてきた。

★人数による効率的な学び合いの方法の確立

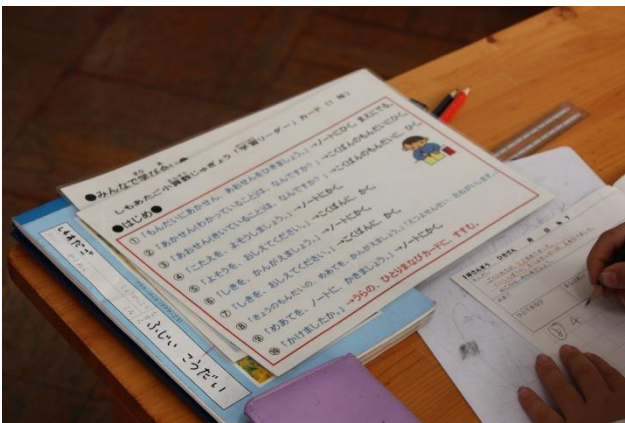
（方法…ペア⇒全体、全体のみ）

（手段…ノート、ホワイトボード、黒板、タブレット〈オクリンク、ムーブノート〉）

・支援方法（口頭、ヒントカード、付箋、過去ノート）

・支援員との打ち合わせ（時間の確保、細かい支援の仕方の理解の違い）

3 今年度の授業の様子より



（学習リーダーカード）



（2年 導入 問題に赤線、青線）



（3年 導入 九九暗唱）



（3年 一人学び オクリンク使用※）



(3年わり算の単元でのオクリンク使用※) (3年 ノート写真⇒オクリンク、ムーブノート)



(2、3年 画面共有での学び合い)

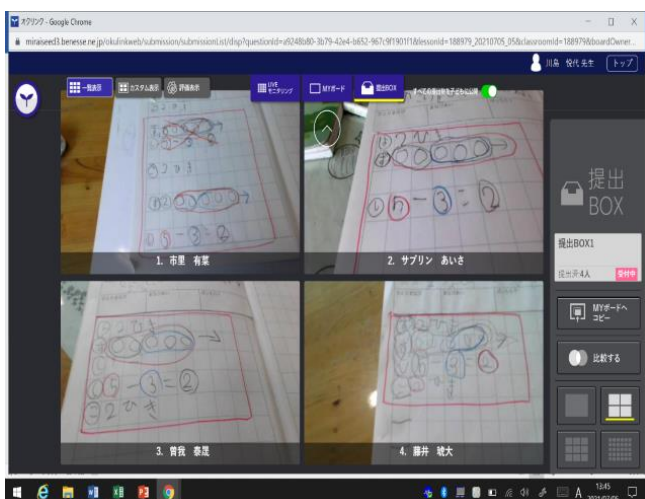
オクリンク、ムーブノートでの学び合い

(ノート記入⇒カメラ撮影⇒画面共有⇒テレビ画面に映して発表)

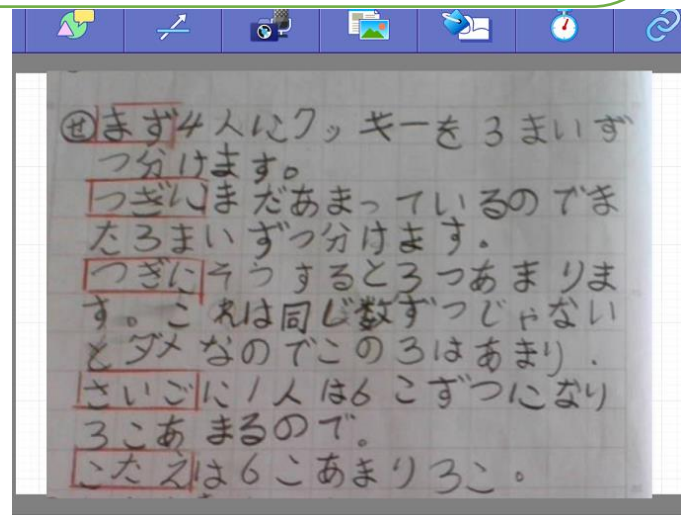
※課題あり (準備時間、見やすさ、集団の人数による利便性、板書に残らない)

○校内研修での提案…ジャムボードを使って、子供たちで考えをグループ化させるといい。テレビ画面にその時間の1番目標に迫ることができた子の考えを映しておき、それをまとめにつなげる。

(もう板書にこだわる時代ではない)



(2年 画面共有された4人のノート写真)



(3年 画面共有された ノート写真)

【昨年度までのスタイル】



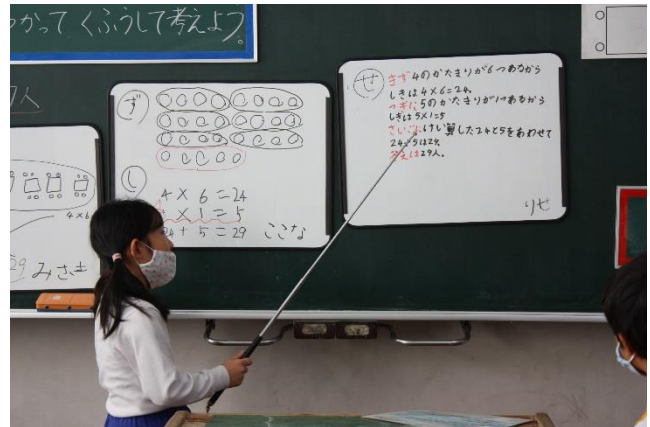
(2年 ペアでの学び合い)



(2年 ホワイトボードへの記入)



(1年 全体での学び合い はかせカード)



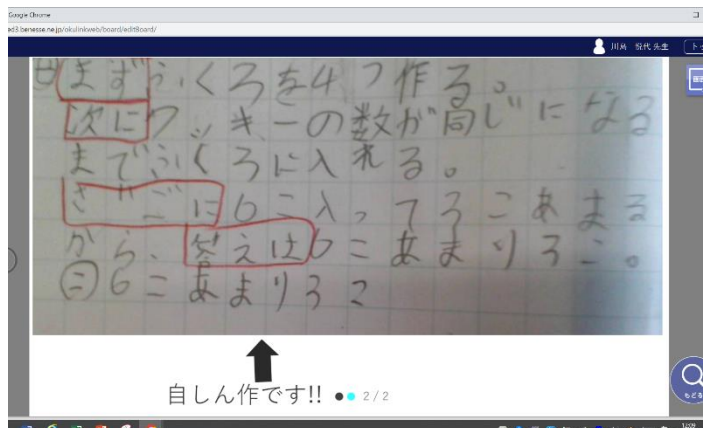
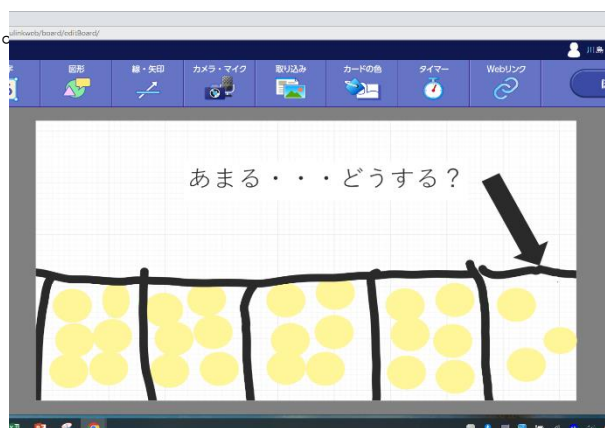
(2年 全体での学び合い 発表)

4 現段階での成果と課題

- ・ 2年(4人)は、ホワイトボードでの学び合いが有効。
- ・ 発表者がポイントのみ、ボードに記入する。(なかなか、この時間を生み出せないが。)
- ・ 3年の考えは、ホワイトボードに書き写すには、内容が多い。
(ホワイトボードは、全体の学び合いの際見やすく、板書にも残るので、大変便利だが、書き写す手間が授業の流れを止めてしまう。)
- ・ 3年(10人)は、タブレットで撮影した写真をオクリンクまたはムーブノート、ジャムボードに送って画面共有して行う学び合いが有効か。
(ムーブノートは、友達の考えに反応することができる。ジャムボードは、みんなの考えグループ化してまとめることができる。)

※3年「わり算」単元でのオクリンク活用は、大変効果的だった。

(等分除、包含除の分け方を、画面上で動かす操作ができ、理解が深まった。)



- ・ 今後も、教材研究を深め、複式学年別授業(算数)における効率的、効果的、協働的な学びについてタブレットの活用も視野に入れながら、研修を深めていきたい。